



立教大学 経済学部

<http://www.rikkyo.ne.jp/grp/eco/index.html>

理論と歴史を学ぶアカデミズムの伝統の上に よりよい経済社会をめざす政策形成能力を養う

3学科が個性を発揮しながら 交流も活発なカリキュラム

立教大学は、幅広い教養と総合的な判断力、そして優れた人間性を備えた教養人を育てるリベラル・アーツを教育理念にしている。「全学共通カリキュラム」はこの理念に基づく教養教育科目で、立教大学の学生の共有財産ともいえるものだ。経済学科、経済政策学科、会計ファイナンス学科の3学科制を採る経済学部においても、この「全学共通カリキュラム」を1～4年次までを対象に開講。4年間にわたり、多彩な教養教育科目で教養や人間性を磨きながら、それぞれの学科の専門領域を学んでいく。

経済学科では経済学の理論と歴史を学び、会計ファイナンス学科では、経済社会や企業を分析するための会計と金融の知識を習得。経済政策学科では、経済学の知識や思考法をもとに、よりよい経済社会をめざす政策形成能力を養成するのが目的である。立教大学経済学部では、それら学科間の交流を重視したカリキュラムを組んでいることも特色のひとつだ。必修科目以外は、希望に応じて他学科の科目も履修できるので、学生は所属する学科の特性を踏まえつつ、経済学全般を見通しながらバランスよく学ぶことができる。

また講義ばかりでなく、ゼミも重要な教育的役割を担っている。ゼミは2年次から受ける少人数制の授業。学生はここで講義から得た知識を生かし、討論を通じて考え

る力を養い、論文やレポートを作成し、その成果を報告するスキルを磨いていくのだ。例えば、会計ファイナンス学科の坂本雅士先生のゼミでは「税務会計論を研究テーマ」としており、2年次には、税法の基本原則・解釈原理を理解することに主眼を置きますが、同時に税務会計を研究していくうえで必要な簿記・会計学の勉強にも力を入れます」とのこと。

坂本ゼミでは日商簿記検定2級の取得が必須とされ、その勉強の身近な目標として「全国大学対抗簿記大会」(大原簿記学校主催)に参加。これまで数々の優秀な成績(全国優勝・団体戦二回、個人戦三回)を挙げている。

ゼミは「人との出会いの場」 ■ それこそが人生の財産になる

「3年生からは研究の分野に進みます。与えられたテキストに従って知識を習得することは勉強なのです。それに対して研究は、勉強で得た知識をもとに、未知の真理を追究する知的作業です。当然、そこには独創性が要求されます。大学では、勉強から一歩進んで、この研究に取り組んでもらうことになります」と話す坂本先生。その研究の成果は論文にまとめられる。坂本ゼミでは、研究成果を学内のみならず、懸賞論文への応募等の手段により学外へも積極的に公表しているそうだ。そして4年生になると、これらのゼミ活動の実績をPR素材に就職活動を行いながら、卒業論文に取り組んでいく。

しかも、ゼミの意義はスキルアップや研

究活動だけにとどまらないというのが坂本先生の持論だ。「ゼミは研究の場であると同時に“出会いの場”だと思うのです。私のゼミでは、簿記大会や共同研究の他にも、夏や冬の合宿や六大学野球観戦など、ゼミ生同士が親睦を深める場をいろいろ提供しています」とのこと。「学生とつき合うのはボク自身も楽しい」と言う坂本先生は、学生の親睦の場にも進んで参加しているそうだ。そんな気さくな先生の人柄を慕って、坂本ゼミには会計分野を志望する学生ばかりでなく、他学科の学生や体育会の学生などいろいろなタイプの学生が集まって活況を呈している。

「大学を卒業して10年、20年経った時に、ゼミが楽しかった、いい友人がいたという思い出や、そこからいろいろな影響を受けて自分の中に残っているもの。そして、その時の友人と生涯付き合っていけるのは、何よりの財産だと思いますよ」と坂本先生は熱く語ってくれた。



2005年度の簿記大会でも全国優勝を果たした

Student Voice



経済学部
経済学科 3年
森岡 俊さん

私立桐蔭学園高校卒

兄貴のような先生。ゼミでは勉強以外にも学ぶことが多いです

経済学部のゼミは希望制(自由選択科目)なのですが、大学に入学したからには、もっと深く何かを学んで知識を高めたと思ってゼミを希望しました。坂本先生のゼミを選んだのは、親が金融関係の仕事をしているので、もともと金融には興味を持っていたため。それに先生のゼミのHPを見たら、とても楽しそうな写真が並んでいたのが決め手になりましたね。大学の先生というと堅くて近寄りづらいイメージがありますが、坂本先生はとても親しみやすく、先生と

いうより兄貴に近い存在。また先生は学生の適性を見極めるのがうまく、僕はゼミ長に抜擢されました。簿記はちょっと苦手なので、ゼミでは勉強よりまとめ役に活躍しているって感じます。大学に入学して1年の時は授業にもイマイチ身が入らなかったのですが、ゼミに入ってから充実した大学生活になりましたね。将来についても日頃から先生に相談に乗ってもらっています。卒業後は広告代理店から商社に就職できたいです。

- 学部所在地 : 東京都豊島区西池袋3-34-1
- 問い合わせ先 : 立教大学入学センター 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 TEL.03-3985-2447
- 大学URL : <http://www.rikkyo.ac.jp/>